

令和2年度 第4回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録【確定稿】

- 日 時：令和2年11月10日（火）18時30分～20時00分
- 会 場：オンライン（Zoom）
- 出席委員：小野修平、田邊洋、阿壽子、山本弓彦、長田範子、渡邊浩文
＜以上6名、敬称略、五十音順＞
- 出席役職員：佐藤文俊、妻屋良男、小平勝一、塚澤貞明、嶋田孝雄、長山清美

配布資料

- 資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（令和2年9～10月）
- 資料 2：コーディネート状況等月次報告（令和2年9～10月）
- 資料 3：令和2年度 福祉活動推進課 各事業の成果と課題（上半期分）（令和2年4～9月）
- 資料 4：西東京ボランティア・市民活動センター予定表（令和2年11～12月）
- 資料 5：令和2年度第3回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録
【未定稿】
- 資料 6：「災害VCスタッフ養成講習会 令和2年度」事業実施企画書
- 資料 7：ボランティア懇談会「やさしいオンラインのはじめかた！」事業実施企画書
- 資料 8：西東京ボランティア・市民活動センター事業カレンダー

資料別冊：ぼらんていあ倶楽部112号

1. 報 告 事 項

- (1) 業務報告（令和2年9月・10月）について（資料1、2）
- (2) 上半期事業報告について（資料3）
- (3) 業務予定（令和2年11月・12月）について（資料4）
 - ・事務局より報告を行った。
 - （委員）
 - ・12月に実施予定だった「軒下ふれあいバザー」中止に伴い参加団体への影響はあったのか。
 - （事務局）
 - ・参加団体の一つが、軒下ふれあいバザーの開催場所へアクセスが不便な方むけに、バザーを開催予定とのこと。
 - ・開催中止決定を改めて連絡する際、影響についての聞き取りも行う。

2. 審 議 事 項

- (1) 令和2年度第3回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会記録（未定稿）について（資料5）
 - ・来週の17日（火）までに訂正・加筆についてご意見をいただき、確定稿とする。
→訂正・加筆がなかったため、確定稿とした。

3. 協 議 事 項

(1) 災害ボランティアセンタースタッフ養成講習会について（資料6）

（事務局）

- ・本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、災害ボランティア養成講習会と災害ボランティアセンタースタッフ養成講習会は、職員研修を兼ねて開催する。
危機管理課を講師にむかえ、これまでとは違った形の講習会となる。

（委員）

- ・今回の講習会は災害ボランティア養成なのか、災害ボランティアセンタースタッフ養成なのか。
- ・災害発生時には危機管理課は災害対策本部の役割となり、本部から動くことは出来なくなる。そのため、実際は地域共生課との連携の方が重要になると思われるが、そのことについて、どう想定されているか。

（事務局）

- ・今回は社協職員の研修も兼ねているため、災害ボランティア、災害ボランティアセンタースタッフ、運営関係なく災害ボラセンとは何か、災害発生時に何が起こるのか、何をしなければならぬか、という学びを共有する場と考えている。
- ・発災時の連携のために平時から危機管理課、地域共生課、高齢者支援課、障害福祉課など段階を踏みながら関わりを増やしていくことが必要であり、課題となっている。

(2) ボランティア懇談会について（資料7）

（委員）

- ・非常に良い試みだと思う。
- ・今回の「やさしいオンラインのはじめかた」に参加した方達が知り合いの方達に伝えていただき広がっていくように働きかけていただけるとより良いと思う。
- ・オンラインは環境が整わないと難しい。来月開催する「やさしいオンラインのはじめかた！」はとても良い企画だと思います。団体のみなさんがオンラインに取り組めるようになると活動プログラムも広がる可能性があると思う。

(3) 次年度の事業実施について（資料8）

*次年度の「ボラフェス」、「夏ボラ」についてアイデア出しをお願いしたい。

ボラフェス

（委員）

- ・ボラフェスが大切にしてきたことは、ボランティアセンターへの登録と活動団体の紹介・団体への参加など、団体と繋がってもらうこと、総合福祉センターの周知、参加団体同士の交流などだと思うので、今までとは違う形の開催となってもそのことを軸として行うほうが良いのではないかと。
- ・ボランティア活動や団体の周知を目的とするならば、参加団体の紹介をインターネットや広報紙を活用する方法もあるかと思う。
- ・開催はオンラインもしくは、人数を入れ替え制にするなど密にならないように工夫してはどうか。
- ・参加団体が少なくなっている対策を考える必要がある。

(事務局)

- ・参加団体が少なくなっているということは、魅力が少ないと考えざるを得ないか。そのうえ来年に関しては、まだ新型コロナウイルス感染症の影響があるとした場合、ゆめこらぼが主催する NPO フェスとの合同開催や、情報発信力が強い団体との共催やイベントへの参加が考えられる。

(委員)

- ・共催などにシフトチェンジするのではなく、何年かに一回という形にして出来るだけ独自の形を残していく方向性が必要と思う。

夏ボラ

(委員)

- ・もしコロナが終息していなくても、夏ボラはプログラムを検討し、実施した方が良いと思う。
- ・夏ボラを依頼している施設・団体に可能性や意向を聞き、在宅でできるボランティアについて施設や団体に一度聞き取りをするなどニーズの掘り起こしをする。その際、「こんなボランティアができますよ」などの提案が出来るように用意しておく方が良いのではないか。
- ・イベント時に使う装飾物などを自宅で作ってもらい送ってもらったり、歌や音楽動画の作成をおこなったりすることもできるのでは。

・

(事務局)

- ・皆様からいただいたアイデアをもとに次年度の内容につきまして検討したい。

4. そ の 他

(1) 令和3年度予算について

(事務局)

- ・令和3年度予算案を作成して市に提出中、今後市との話し合い及び調整が行われる。

(2) 次回運営委員会開催日程について

■日時：令和3年1月12日（火） 18時30分～20時00分

■会場：田無総合福祉センター